

# パークアンドバスライドによる 観光渋滞の緩和

～観光シーズンにおける筑波山周辺の渋滞対策～

茨城県

## パークアンドバスライド社会実験の概要

百名山である筑波山では、GW等の観光シーズンにおいて、駐車場の容量不足による慢性的な渋滞が発生しています。

茨城県では、筑波山をより魅力ある観光地とするため、GWの4月30日・5月3日の2日間に渋滞緩和施策としてパークアンドバスライド※の社会実験を実施しました。



位置図



駐車場待ちによる渋滞



パークアンドバスライドの概要

※パークアンドバスライドとは、自動車を駐車場に停車して、そこからバス（公共交通機関）に乗り換えて目的地に行く方法です。



パークアンドバスライドとは

## 社会実験の結果

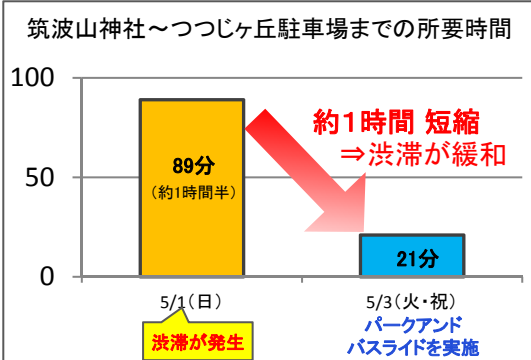
つつじヶ丘駐車場（ロープウェイ乗り場）が満車時に、案内誘導箇所から臨時駐車場へ案内し、パークアンドバスライドを実施したところ、渋滞区間である筑波山神社からつつじヶ丘駐車場までの所要時間が約1時間短縮し、渋滞が緩和されました。

パークアンドバスライドを利用された方を対象にしたアンケートでは、約88%の利用者が「パークアンドライドを利用して、とても良かった」または「良かった」と回答しました。

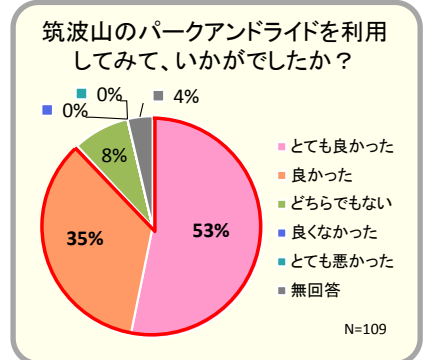
### バス運行の様子



臨時駐車場



パークアンドバスライドの効果



利用者アンケート

筑波山へアクセスする際の渋滞が緩和されることにより、観光や登山に訪れる方々のより一層の増加が期待されます。

今後、秋の紅葉シーズンに向け、臨時駐車場の整備等、より快適な筑波山観光ができるようさらに取り組んでまいります。